



2024年5月期 第3四半期決算説明資料
(2023年6月1日～2024年2月29日)

2024年4月11日
小津産業株式会社
証券コード7487



1. 2024年5月期 第3四半期決算概要

2

2. 2024年5月期 業績見通し

6

3. 各事業分野の主要動向

9

4. 参考資料

20



1. 2024年5月期 第3四半期決算概要



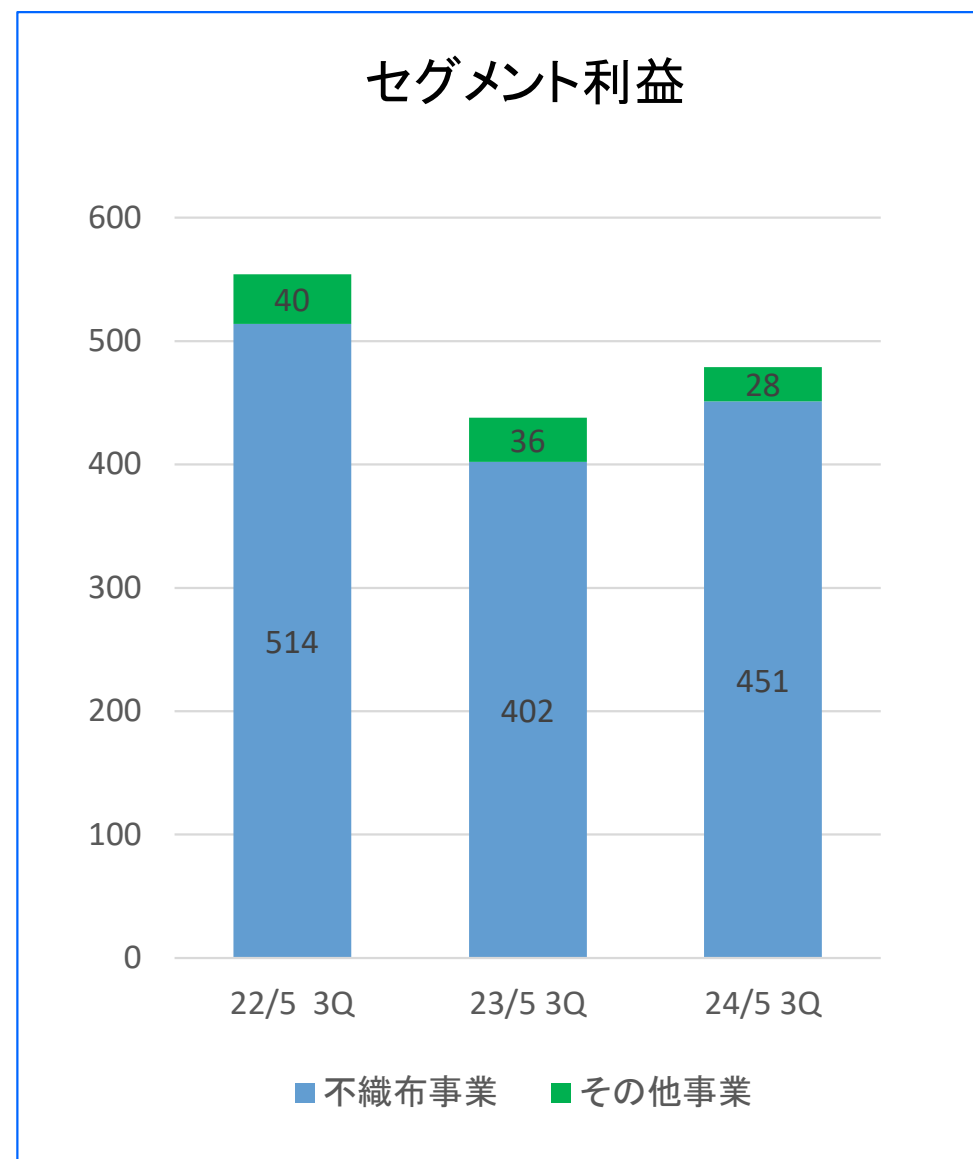
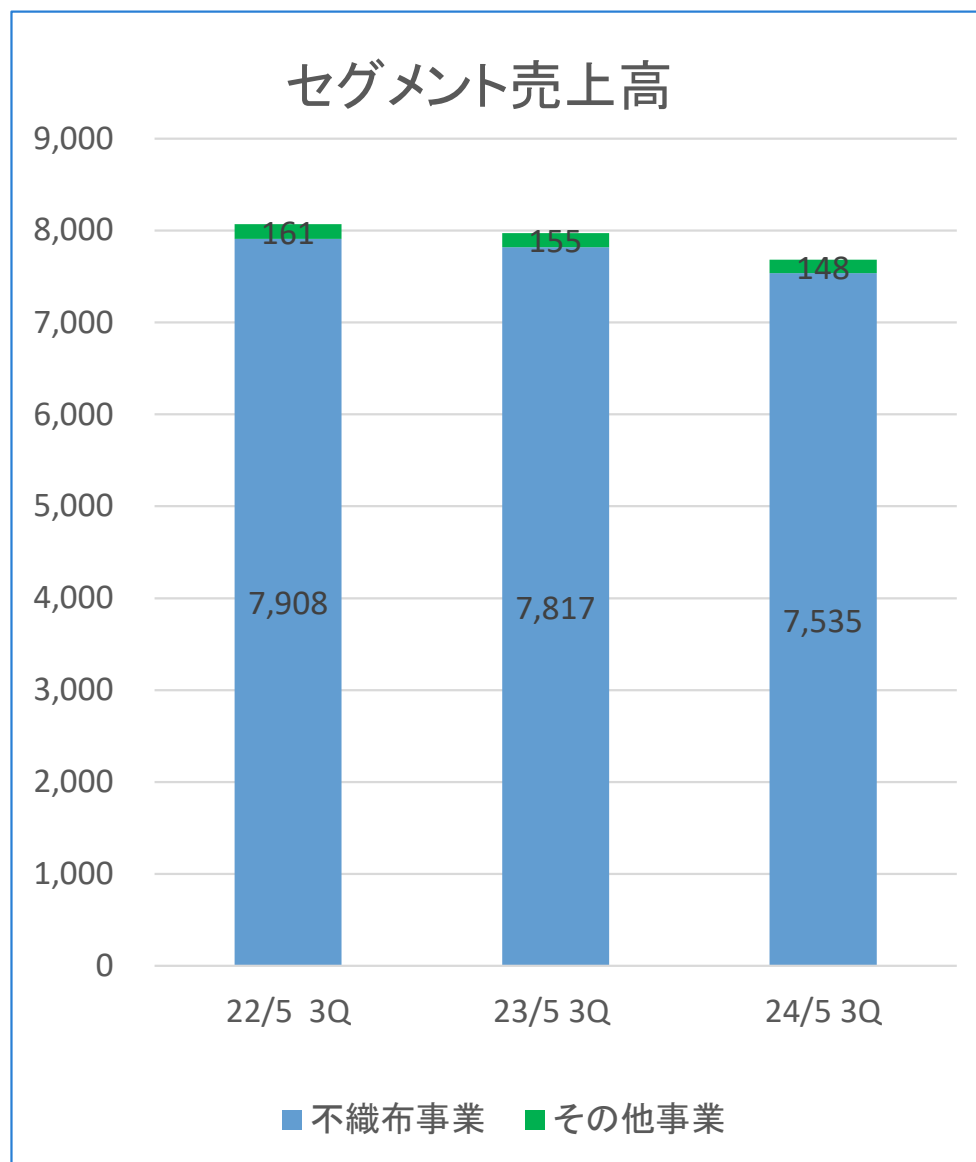
業績のポイント

- 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う感染対策製品の需要減や東アジアのコスメ市場の変化等の影響を受け、前年同期比減収となった。
- 販売価格の適正化や原価低減に取り組んだことや販管費の下振れ等により、前期比増益となった。

(百万円)	23/5期		24/5期		前年同期比
	3Q実績	構成比	3Q実績	構成比	増減額
売上高	7,972	100.0%	7,683	100.0%	△289
売上総利益	2,441	30.6%	2,458	32.0%	17
販売費及び一般管理費	2,002	25.1%	1,977	25.7%	△25
営業利益	439	5.5%	480	6.3%	41
経常利益	554	7.0%	610	7.9%	56
親会社株主に帰属する 四半期純利益	370	4.6%	470	6.1%	100

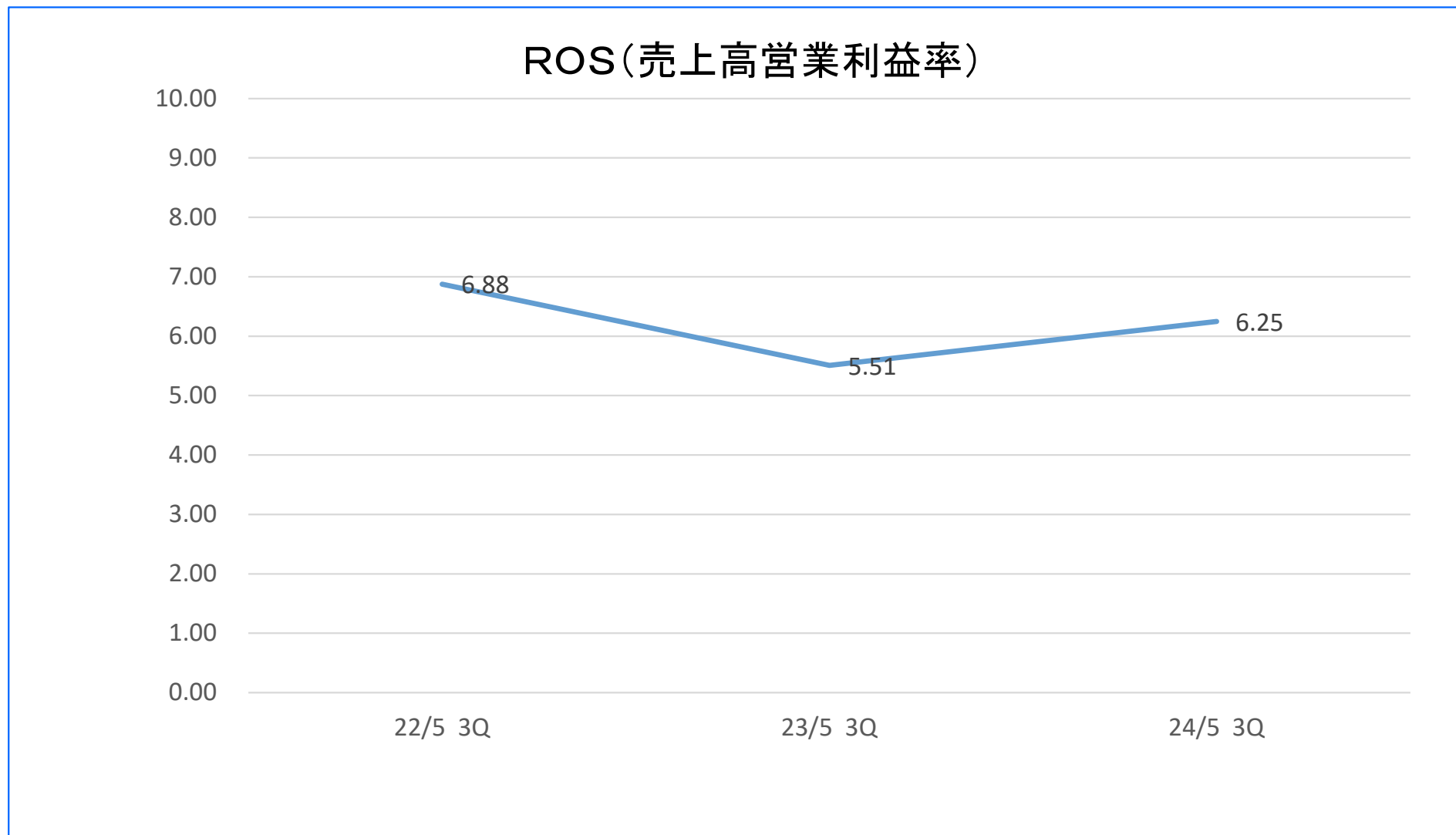


不織布事業＋その他事業の業績推移





経営指標の推移



- 収益力の一層の強化により、ROSの向上を目指す。



2. 2024年5月期 業績見通し



業績予想の上方修正

最近の業績動向を踏まえ、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益の通期業績予想を上方修正。

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2023年7月13日公表)	10,000	470	550	380	45.28
今回修正予想(B) (2024年4月11日公表)	10,000	530	670	520	61.92
増減額(B-A)	—	60	120	140	—
増減率(%)	—	12.8	21.8	36.8	—
(参考)前期実績 (2023年5月期)	10,368	458	590	383	45.75

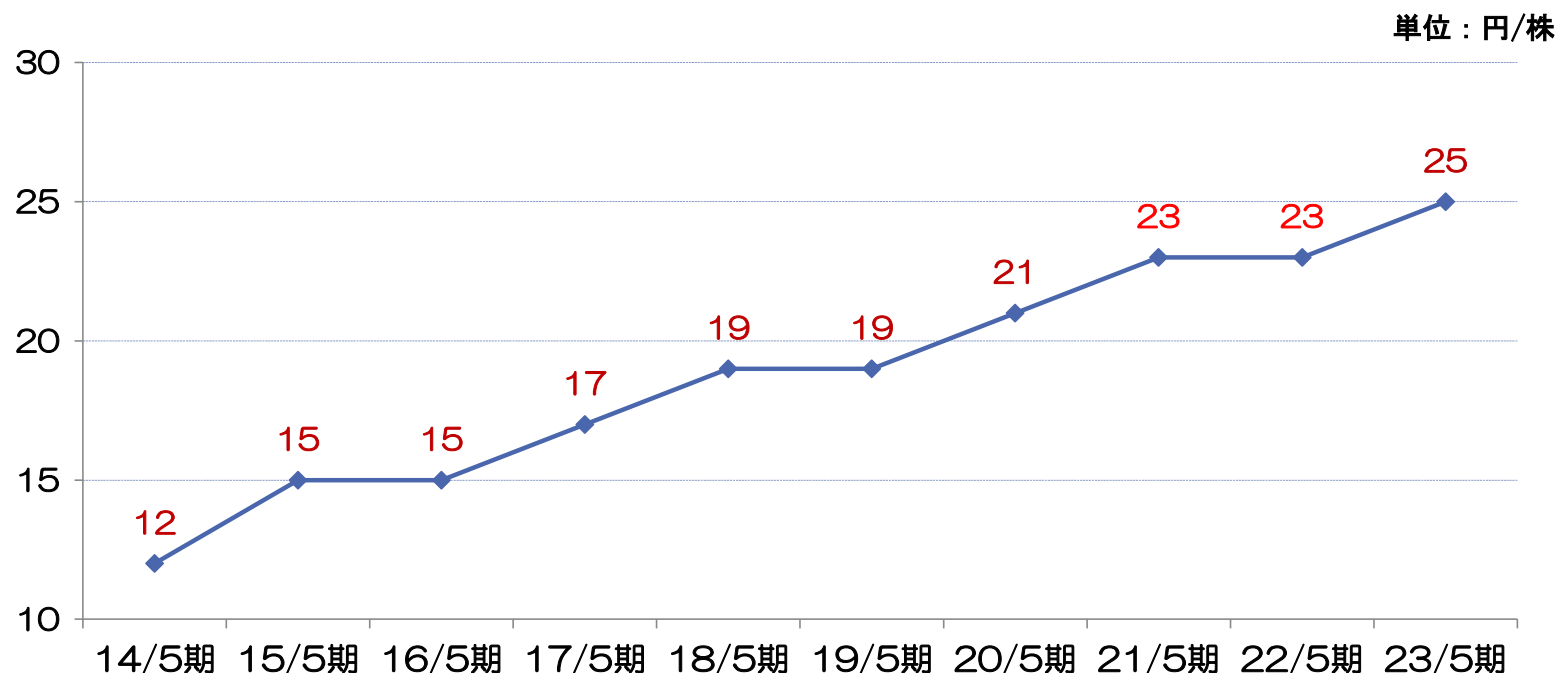
修正の理由

- 除染関連分野において販売実績を計上。
- エレクトロニクス分野が堅調に推移。
- ディプロにおいて、販売価格の適正化や原材料費の低減が実現。
- 受取配当金の増加や、為替差益が発生。

株主還元方針

- 株主さまに対して、長期的に安定した利益還元を行うことを基本方針としつつ、合わせて当社グループの企業体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の確保を総合的に勘案することを方針とする。
- 加えて、株主さまへの利益還元を充実するため、業績に多大な影響を与える事象の発生がないかぎり減配は行わず、増配を目指して業績向上に努める。
- 現時点においては、2023年5月期と同様の、一株あたり25円の配当を予定。

【配当金推移】





3. 各事業分野の主要動向



中期経営計画2024 : Leap into the Innovation

「紙と不織布」の技術力を基盤とした「価値創造企業」へ

取組み骨子

■ 売上増強への取組み

重点販売製品(ディプロ製品、過酢酸製剤)の拡販推進。
電力会社等への提案活動継続と用途開発推進による除染布販売。
得意先とのコミュニケーションの一層の強化。
⇒的確な販売機会の捕捉。ニーズ対応による製品ラインナップの拡充(ものづくり)。

■ 外部環境変化への迅速な対応

原材料価格の高止まり等が継続。
⇒迅速かつ的確な対応を引続き実施し、収益を確保。

■ 海外展開の再構築

販売・製造・購買の機能拡充を目的に、海外販売拠点、海外加工場の再構築検討に着手。



不織布事業(分野)	事業の概要
エレクトロニクス分野	半導体、電子部品、航空宇宙、製薬、食品工場等の製造現場で使用される不織布ワイパーの販売および企画。
メディカル分野	病院・介護施設で使用される不織布ガーゼ・マスク、除菌ウェットシート、感染対策製品等を販売。
コスメティック分野	国内外の大手化粧品メーカー・エステ関連企業のお客様ブランドの商品を製造販売。自社ブランド製品の販売も展開。
除染関連分野	放射性セシウム吸着シート「五大力」。 電力会社に安全対策用途で販売。
小津(上海)貿易有限公司	中国における販売・購買の拠点。 中国にてエレクトロニクス分野、コスメティック分野等の製品を販売。
ディプロ	小津グループの製造拠点。 陽圧管理により、化粧品や医薬部外品等の高付加価値製品をクリーンな環境で生産。
日本プラントシーダー	野菜の種子をテープ状の水溶性フィルムや生分解不織布に封入し専用機械で播種する「シーダー農法」普及を推進。

その他事業	事業の概要
除菌関連事業 (エンビロテックジャパン)	食品添加物として過酢酸製剤を販売(米国FDA認証、2016年厚労省認可)。 食品工場向けサニテーション用途中心に拡販。
不動産賃貸業	不動産賃貸事業を営む。

事業の概要

半導体、電子部品、航空宇宙、製薬、食品工場等の製造現場で使用される不織布ワイパーの販売および企画。

売上構成比率

約35% ※連結 2024年5月期業績予想ベース。

第3四半期までの実績

- ・ 中国の工場稼働率低下、通信機器関連の需要低迷の影響あるも、自動車関連の需要復調、食品分野等への拡販に取り組んだことにより、売上高、利益面とも前年同期比横ばい。

今後の取り組み

- ・ リチウムイオン電池、全固体電池メーカーへのアプローチ強化。
- ・ 食品分野でのシェア拡大に注力。
- ・ 東南アジア（特にベトナム）での拡販を目指し営業を強化。

【取扱製品例】

「ダスパー®」



「ベンコット®」



※「ベンコット®」は旭化成の登録商標です。

事業の概要

病院・介護施設で使用される不織布ガーゼ・マスク、除菌ウェットシート、感染対策製品等を販売。

売上構成比率

約20% ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・得意先のニーズに合致した新製品の開発や新規販路の拡大を進めるものの、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、感染対策用の消耗品類の需要が減少。
- ・前年同期比売上高、利益面とも減少。

今後の取り組み

- ・きめ細かいニーズ対応をベースとした製品開発による売上増強と新規顧客の開拓推進。
- ・「エコ」「肌にやさしい」等、商品差別化によるマスク販路の拡大。

【取扱製品例】

「ZEST N95マスク」



「ドレープ」



「ロールシート(防水シート)」



事業の概要

国内外の大手化粧品メーカーのお客様ブランドの商品を製造販売。
自社ブランド製品の販売も展開。

売上構成比率

約10% ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・ 国内販売は比較的堅調に推移するも、東アジア市場向け販売は市場の変更等の影響から低調推移。
- ・ 売上高、利益面とも前年同期比減少。

今後の取り組み

- ・ ディプロの製造機能も活用。新製品の創造を加速し、新規顧客を開拓。売上高の増強を図る。
- ・ 中国での拡販、韓国コスメの情報収集強化と取込み推進。

【取扱製品例】

「あぶらとり紙」



「セルセル®(コットンパフ)」



「酒粕マスク(フェイスマスク)」



事業の概要

放射性セシウム吸着シート「五大力」。
電力会社に安全対策用途で販売。

売上構成比率 次の導入に向けた準備期間

第3四半期までの実績

- ・ 国内電力会社等への営業活動を継続して実施した結果、販売実績を計上。

今後の取り組み

- ・ 採用実績を積むため、電力会社等への提案活動の強化継続。
- ・ 産学連携による用途開発の推進。

【取扱製品例】

「五大力」



東京大学 生産技術研究所HP より引用
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/industry/collaborate/>

**東京大学**
THE UNIVERSITY OF TOKYO

**小津産業株式会社**

平成 24 年 11 月 21 日

報道関係者 各位

東京大学生産技術研究所
小津産業株式会社

東京大学生産技術研究所共同記者会見開催のお知らせ
「低コストな除染材の大量供給が可能に」
ー放射性セシウム除染布、量産工程を確立ー

1. 発表日時：
平成 24 年 11 月 27 日（火）15:00～16:00（受付開始 14:30）

2. 発表場所：
東京大学生産技術研究所 総合研究実験棟 An 棟 3F 大会議室（An301、302）
〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1 駒場リサーチキャンパス
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>（参照）



事業の概要

中国における販売・購買の拠点。
中国にてエレクトロニクス分野、コスメティック分野等の製品を販売。

売上構成比率

約5% ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績



今後の取り組み

- ・コスメティック分野において販売が減少したことおよび、中国の工場稼働率の低下の影響を受け、前年同期比売上高、利益面とも減少。

- ・代理店政策の強化による新規販売先の開拓。
- ・製薬分野の新規開拓の推進。
- ・小津グループの購買拠点としての機能強化推進。

事業の概要

小津グループの製造拠点。
陽圧管理により、化粧品や医薬部外品等の高付加価値製品をクリーンな環境で生産。

売上構成比率

約15% ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・ 販売価格の適正化や原材料費の低減を実施。
- ・ 前年同期比売上高は横ばい、利益面は増加。

今後の取り組み

- ・ 原材料価格の高止まりへの対応継続。
- ・ 独自ブランド製品「ケアウィル」拡販。
- ・ 高機能製品（機能薬剤・コスメ等）の開発推進。生産効率の一層の向上。

【取扱製品例等】



「高濃度除菌ウエットシート」



「ケアウィル®(除菌ウエットシート)」



事業の概要

野菜の種子をテープ状の水溶性フィルムや生分解不織布に封入し専用機械で播種する「シーダー農法」普及を推進。

売上構成比率

約10% ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・ 国内販売の減速および、海外販売が伸び悩み、前年同期比、売上高は微減、利益面は横ばい。

今後の取り組み

- ・ シーダー農法対象作物の拡大と拡販。
- ・ 新たなシーダーマシンの開発推進。

【取扱製品例等】

「あけマルくん®(シーダーマシン)」



「シーダーテープ」



「東北営業所」



事業の概要

食品添加物として過酢酸製剤を販売（米国FDA認証、2016年厚労省認可）。
食品工場向けサニテーション用途中心に拡販。

売上構成比率

少額 拡販のための取組み強化 ※連結 2024年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・ 過酢酸製剤の認知度・効用の浸透に伴い、新規採用先が増加。
- ・ 前年同期比売上高、利益面とも増加。

今後の取組み

- ・ 小津グループでの販促活動の強化および、代理店政策の強化による売上高の増強。
- ・ 過酢酸製剤の認知度向上のための啓蒙活動の継続・強化。

【取扱製品例等】



※過酢酸製剤噴霧使用例



※泡除菌剤パーサンフォーム使用例

「パーサン®(過酢酸製剤)」





3. 参考資料

2024年5月期 第3四半期連結貸借対照表



(百万円)	23/5期 5月末	24/5期 2月末	増減額
流動資産	12,586	12,656	70
固定資産	12,043	12,267	224
総資産	24,630	24,923	293
流動負債	3,573	3,450	△123
固定負債	3,035	3,089	54
負債合計	6,609	6,540	△69
純資産	18,020	18,383	363
自己資本 比率	73.1%	73.5%	0.6

主な増減要因

■ 資産	
土地	+387
受取手形及び売掛金	+263
現金及び預金	△380
■ 負債	
支払手形及び買掛金	+55
未払費用	△138
■ 純資産	
利益剰余金	+260

- 1653年(承応2年)創業の和紙問屋を起源とする「紙と不織布」の製造商社。
- 現在では、エレクトロニクス・クリーン分野、メディカル分野、コスメティック分野、コンシューマー分野などを展開。
- 機能性不織布製品の企画開発から製造・販売までをメインとした幅広いサービスを提供。

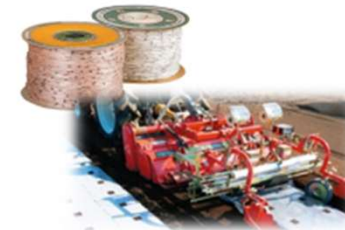
過酢酸系の除菌剤販売
(除菌・殺菌)



ENVIROTECH

エンビロテック
ジャパン(株)

アグリ分野
(シーダテープ製造販売)



日本プラント
シーダー(株)

オツテクノ(株)
・
(株)旭小津

(株)ティプロ
・
パンレックス(株)

小津産業(株)



不織布、紙製品の加工

不織布、
紙製品の販売



消毒・除菌WET、
フェイシャルシート等の製造販売



小津産業会社概要



会社名	小津産業株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋本町3-6-2
創業	1653年(承応2年)
設立	1939年(昭和14年)12月6日
資本金	13億2,221万円
証券コード	東証スタンダード 市場 7487
事業内容	不織布(エレクトロニクス用、メディカル用 コスメティック用、産業資材用) 洋紙・紙製品等の 国内販売・加工、輸出入
従業員数	連結:259名 単体:97名(2023年5月31日現在)

役員等

代表取締役社長兼会長 兼社長執行役員	今枝 英治
代表取締役副社長執行役員	河田 邦雄
取締役 兼 上席執行役員	村尾 茂
取締役 兼 上席執行役員	三崎 剛志
社外取締役	穴田 信次
社外取締役	山下 俊史
社外取締役	阿部 光伸
常勤監査役	近藤 聡
監査役	稲葉 敏和
社外監査役	深山 徹
社外監査役	山本 千鶴子
執行役員	立野 智之
執行役員	柴崎 治

関係会社

連結子会社	オヅテクノ(株) 日本プラントシーダー(株) (株)ディプロ 小津(上海)貿易有限公司 エンビロテックジャパン(株) (株)旭小津
持分法適用関係会社	アズフィット(株)



本資料に関するお問い合わせ

小津産業株式会社 経営企画室

Email : soumu@ozu.co.jp

<https://www.ozu.co.jp/>

本資料の取り扱いについて

- ・本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。